

原稿作成要領

1. 原稿は A4 判の用紙を用い、上下左右の余白幅は 2cm 以上とする。和文原稿では 1 頁あたり全角 32 文字 25 行 (800 字)、英文原稿ではダブルスペースに相当する行間を取る。文字サイズは 12 ポイント。和文では本文は明朝体、見出しはゴシック体を用いる。英文では Times Roman などの欧文フォントを用いる。

行末の英単語は右端揃えせず、ハイフンも用いずに単語全体を次行へ送る。アルファベット、記号および算用数字は半角文字とする。和文では、句読点は「、 . 」を用い、句読点および括弧、コロンなどの記号は全角で記述する。

図表を除く本文全ての行の左に通し番号をつけ、フッターには頁番号をつける。本文と図表は同じファイルにまとめる。

2. 原稿は次の順序で記述する。本文中の項目は、適宜省略もしくは組み合わせることができる（「結果および考察」「RESULTS AND DISCUSSION」など）。各項目の詳しい書き方は次項以降を参照すること。

総説・原著

a. 和文原稿

1 頁目：略表題 (20 字以内) ・表題・著者名・所属および住所・脚注

2 頁目：ABSTRACT (英文表題・ローマ字著者名・英文所属および住所・英文内容抄録 (250 語以内)) ・英語キーワード (6 語以内)

3 頁目以降：緒言・材料と方法・結果・考察・摘要 (500 字以内) ・謝辞・引用文献
(改頁して) 図の説明・表・図

b. 英文原稿

1 頁目：略表題 (50 字以内) ・表題・著者名・所属および住所・脚注

2 頁目：ABSTRACT (250 語以内) ・Key words (6 件以内)

3 頁目以降：INTRODUCTION ・ MATERIALS AND METHODS ・ RESULTS ・ DISCUSSION ・
ACKNOWLEDGEMENTS ・ REFERENCES

(改頁して) FIGURE LEGENDS ・ TABLES ・ FIGURES

(改頁して) 和文摘要 (表題・著者名・所属および住所・内容抄録 (500 字以内))。ただし、日本語を母国語としない著者による場合に限り、和文摘要を省略できる。

短報・資料

短報は原著に準ずるが、本文中の見出しは省くことができる。和文原稿では英文 ABSTRACT は必要であるが、和文摘要は不要である。英文原稿では ABSTRACT、和文摘要ともに不要である。和文の表題・著者名・所属または住所は 1 頁目脚注に記述する。

資料は論文形式をとらない。

3. 表題

表題では原則としてダニの和名 (一般名) と学名の両方を表記する。和名 (一般名) がない場合は学名のみ表記する。英文表題では、先頭および固有名詞・学名等のみ先頭文字を大文字にする。ただし、刷り上がり時は各単語の先頭文字が大文字となる。なお、和文英文ともに表題の学名には学名の著者を記述する。

4. 著者名、所属の書式

著者名は、和文では姓名の間に半角空白を入れる。英文では名・姓の順に、名は頭文字のみ大文字、姓は全て大文字で書く。複数の著者がいる場合、和文では中点 (・) でつなぐ。英文では半角コンマ (,) でつなぐ。最後は and でつなぐ。

著者名の次の行には所属、郵便番号、住所を記述する。所属、郵便番号ならびに住所は、和文では立体で表記するが、英文ではイタリック体とする。所属名は正式名称での記述を原則とするが、混乱が生じない範囲での略称の使用も可能である。大学は大学名および学部等の部署を記載する。所属が異なる著者を含む場合には、全ての所属についてそれぞれ改行して表記する。著者名の右肩に上付数字 1,2... を付け、所属の文頭に対応する上付数字を付けて区別する。

複数の著者がいる場合、連絡先著者1名には右肩に星印*を付けたうえで、脚注に e-mail アドレスを記述する。著者が1名の場合でも、連絡先著者は記述すること。

また、当該研究が行われた機関から移動した著者があれば、その現所属・住所を脚注に記述する。その際の肩付き文字は短剣符(†)、二重短剣符(‡)、セクション記号(§)、などを順に用いる。研究が文部科学省研究費や各種助成金による場合、脚注にその旨を但し書きする。

【例】

和文原稿

高藤 晃雄^{1*}・森下 正彦^{2†}

¹ 京都大学大学院農学研究科生態情報開発学研究室, 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

² 和歌山県農林水産総合技術センター, 〒649-6531 和歌山県那賀郡粉河町粉河

-- (脚注)

*連絡先著者: e-mail: xxx@yyy.ac.jp

† 現在:

英文原稿

Takeshi KOJIMA¹, Masayuki SAKUMA^{1*}, Masao FUKUI¹ and Yasumasa KUWAHARA^{2†}

¹ *Laboratory of Insect Physiology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, 606-8502, Kyoto, Japan*

² *Laboratory of Chemical Ecology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, 606-8502, Kyoto, Japan*

-- (脚注)

* Corresponding author: e-mail: xxx@yyy.ac.jp

† Present address:

5. 和文原稿の ABSTRACT

英文表題を記述し、改行して英文で著者名、所属、郵便番号、住所を記述する。書式は、前項の英文原稿の例を参考にする。一行空けて、250語以内の英文内容抄録を記述する。

6. Key words

キーワードは英文で6件以内とし、Key words: に続いてアルファベット順に小文字で記述する。学名や地名の頭文字等は太文字とする。キーワード間はコンマでつなぐ。

7. 本文

本文中の動植物の和名はカタカナ、属・種・亜種の学名はイタリック体に指定する。なお、これらの学名は本文中の初出においては、亜種小名から属名まで完全表記し、学名の著者・日付(記載年)を付す。なお、学名の著者が複数の場合は&でつなぐ。ただし、学名の著者が3名以上の場合、初出以外は第1著者の名前に続けて et al. を使用して示すことができる。

単位と略号は国際単位系(SI)に準拠する。当面使用できる非 SI 単位は次の通りとする。Y (year), °C, a, ha, t, Da, L (dm³), M (mol/dm³), hPa または Pa, Ci, R, °, ', " (角度) など。

見出しおよび小見出しはゴシック体とし、いずれも左詰めで記述する。

本文、図表ともに数値には3桁ごとにコンマを入れる。

8. 文献記載の書式

本文中での文献の引用は、丸括弧内に著者名と発行年をコンマで区切って示す。著者が2名の場合は著者名を和文では中点(・)、英文では and でつなぐ。3名以上の場合には第一著者名のあとに和文では「ら」、英文では立体の et al.をつける。同一著者による同年発行の論文を複数引用する場合は、Takaku (2020a), Takaku (2020b)のように発行年につづいて本文で引用した順に a, b, c...の文字をつけて区別する。ひとつの括弧内に入れる場合は Takaku (2020a, b)のように示す。異なる著者の論文をひとつの括弧内に入れる場合はセミコロンで区切り、発行年・第一著者名のアルファベット順で並べる。和文でも年号は半角数字を用いること。

【本文中での引用例】

- 1名の著者の論文 Ohkubo (2003), (Ohkubo, 2001; Kurosa, 2003), 天野 (1999), (天野, 1999; 岡部, 1999)
2名の著者の論文 Shimano and Norton (2003), (Shimano and Norton, 2003), 林・増永 (2001), (林・増永, 2001)
3名以上の著者の論文 Mizutani et al. (2003), (Kuwahara et al., 1994, 2001), 大橋ら (2003), (大橋ら, 2003)

引用文献は、原稿の末尾に本文および図表で引用したもののみを記述する。なお、本文および図表中で用いられた学名の出典は、見出しならびにシノニムリスト中のものを除き、引用文献には含めない。3名以上の著者の文献でもすべての著者名を記述する。引用文献の列記は著者名のアルファベット順とする。第1著者が同じ場合には、まず単著の文献を発行年順に並べ、続いて共著の文献をあとに続ける。共著の文献は共著者の人数が少ないものを先に記述し、第2著者名、第3査読者…のアルファベット順に並べる。すべて同一著者の場合は、発行年順に並べる。同一著者で同一発行年の場合は、Takaku (2020a), Takaku (2020b)のように、本文で引用した順を示す a, b, c…の小文字アルファベットの順とする。

和文では著者の姓または名が1字の時は姓名の間に半角空白を入れる。英文では第一著者名は姓、名の頭文字の順に、以下の著者は名の頭文字、姓の順に記述する。和文では著者が複数の場合は著者名を中点 (・) でつなぐ。英文では半角コンマ (,) でつなぎ、最後は and でつなぐ。

副題はコロンでつなぐ。雑誌名は略記せず、英文ではイタリック体指定とする。

引用文献が印刷中の場合は、和文では(印刷中)、英文では(in press)と末尾に括弧付きで記述する。また、英文原稿で和文の文献を引用する場合は末尾に(In Japanese)と記述する。

論文の場合：

著者名(発行年)表題. 記載誌名, 巻: ページ-ページ.

Author (year) Title. *Journal*, volume: ###-###.

【文例】

青木一郎(1993)カンザワハダニの増殖と発生に及ぼす各種殺虫剤散布の影響. 日本ダニ学会誌, 12: 23-27.

Saito, M. and R. Kitaoka (1993) Description and comparative studies on the larva of *Leptotrombidium*

(*Trombiculindus*) *kansai* Ikeda. *Journal of the Acarological Society of Japan*, 12: 132-139.

単行本の場合：

著者名(発行年)書名(改訂#版). 発行所, 発行地.

Author (year) Title. # ed. Publisher, Place.

【文例】

國本佳範(2019)ハダニ防除ハンドブック: 失敗しない殺ダニ剤と天敵の使い方. 農山漁村文化協会, 東京.

Newton, W. H. (1981) *The Mechanism of Diapause in Acari*. Georgia Univ. Press, Atlanta.

単行本(分担執筆)の場合：

著者名(発行年)表題. 「書名(〇〇編)」. ページ-ページ, 発行所, 発行地.

Author (year) Title. In: Book Title. # ed. pp. xxx-xxx, Publisher, Place.

【文例】

山口 昇・北岡茂男(1980)マダニ科. 「日本ダニ類図鑑(江原昭三編)」. pp144-161, 全国農村教育協会, 東京.

Smith, D. W. (1978) Ixodidae (ticks). In: *Acari of Medical Importance* (ed., Simon, K.), pp. 267-326, Smithsonian Inst., Washington, D. C.

電子媒体の場合：

著者名(発行年)表題. URL(閲覧年月日).

Author (year) Title. Available at URL (date of access).

【文例】

農研機構(編)(2018)オオバのシソサビダニおよびシソモザイクウイルス(PMoV)検出マニュアル第2版. https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/kensyutu_20180528140000.pdf (2019年8月23日)

Toyoshima, S., H. Kishimoto and H. Amano (2013) Phytoseiid Mite Portal. Available at <http://phytoseiidae.acarology-japan.org/> (17 October 2014).

9. 図表

図表は和文原稿であっても英文とするが、図表表現が英文では困難、あるいは和文使用が投稿目的に強くなると判断される場合は、図表に和文を併記してよい。ただし、その必要性は編集委員会で判断する。

表は Table 1, Table 2 … の順に名前を付ける。横線のみ用い、縦線は使わない。表の表題は表の上に記載し、文末にはピリオドをつける。表に注釈をする場合は、表中の関連語句に a), b), c) … などの上付文字をつけ、表の下に注釈文を記述する。注釈文の文頭に関連語句と対応した a, b, c … などの上付き文字をつける。注釈文末にもピリオドをつける。原稿本文の「図の説明」（後述）の後に改頁して1頁に1表ずつ順番につける。

図は Fig. 1, Fig. 2 … の順に名前を付ける。原稿本文の表の後に改頁して1頁に1図ずつ順番につける。「図の説明」は「引用文献」の次の頁に記載する。表題の文末にはピリオドをつけ、説明は改行せず続ける。

登載決定後に編集部へ送付する最終原稿において、図の希望挿入箇所を本文の右端に朱書きする。その際、写真や原図も電子メールにより送付する。ビットマップ画像 (.tiff, .jpg など) で保存の場合、カラーやハーフトーンの写真・線画などの解像度は 350 dpi 以上、記載図などに用いるモノクロ 2 値の線画は 1,200 dpi 以上とする。

10. その他、不明点・疑問点は編集事務局まで問い合わせられたい。